

12/19 木

安保3文

危険な大転換

□2□

撃を受け、多くの市民の生
命・財産が失われる危険が
あるのです。

戦略擦り合わせ
協力を統合的に

「日米両国がそれぞれの
戦略を擦り合わせ、防衛協
力を統合的に進めていく」

「わが国への武力攻撃が
行われた場合」「武力行使
の3要件に基づき」「その
ような攻撃を防ぐのにやむ
を得ない必要最小限度の自
衛の措置」。安保3文書の
最上位文書である「国家安
全保障戦略」は敵基地攻撃
(反撃能力)をこう定義し、
「自衛の措置」だとして正
当化しています。

しかし、重大な点は、「武
力行使の3要件」には第2
次安倍政権が強行した安保
法制の下、「わが国への武力
攻撃が行われた場合」では
なくとも、米軍の要請に基
づいて集団的自衛権を行使
する「存立危機事態」が含
まれてくるのです。つまり、
米軍とともに、あるいは
米軍の肩代わりをして、
他国を攻撃することが命ま
れています。

岸田文雄首相は、16日
の会見で、今回の3文書改
定は「安保法制を実践面で
強化する」と述べています。
集団的自衛権を行使する
態勢を強化するために敵
基地攻撃能力を保有するこ
とこそ、核心部分です。

敵基地攻撃も日米一体

「わが国への武力攻撃が
行われた場合」「武力行使
の3要件に基づき」「その
ような攻撃を防ぐのにやむ
を得ない必要最小限度の自
衛の措置」。安保3文書の
最上位文書である「国家安
全保障戦略」は敵基地攻撃
(反撃能力)をこう定義し、
「自衛の措置」だとして正
当化しています。

しかし、重大な点は、「武
力行使の3要件」には第2
次安倍政権が強行した安保
法制の下、「わが国への武力
攻撃が行われた場合」では
なくとも、米軍の要請に基
づいて集団的自衛権を行使
する「存立危機事態」が含
まれてくるのです。つまり、
米軍とともに、あるいは
米軍の肩代わりをして、
他国を攻撃することが命ま
れています。

敵基地攻撃も日米一体

同での(敵基地攻撃)能
力をより効果的に発揮する
ための(敵基地攻撃)能
力をより効果的に発揮する
家防衛戦略などとして、
協力態勢を構築する」(國
協力を示しています。

米国の統制下で行われる可
能性を示しています。

攻撃される前に
破壊する「作戦」

敵基地攻撃がより深く米
標を優先付けることによ
り、同盟を絶えず現代化
し、共同の能力を強化す
る。安保3文書の一つで
ある「国家防衛戦略」は、
戦略面での日米一体化を強
調しています。実は、この
点が安保3文書改定の最大
の目標といつても過言では
ありません。

敵基地攻撃能力について
も、「日米が協力して対処
していく」(国家防衛戦略)、
「情報収集を含め、日米共
に構築する「防空」網ですが、
米統合参謀本部のドクトリ
ン(教義)は、敵国の「ミ
サイル発射拠点、空港、指
揮統制機能」などを、相手
から攻撃を受ける
前に破壊する「攻
勢作戦」を行うこ
とが含まれるとし
ています。日本
も、そうした敵基
地攻撃の一翼を担
う危険もあります。

米軍と自衛隊は
毎年、ミサイル防
衛に関する共同訓
練を行っています
が、今後、こうし
た訓練がどう変容
していくのか注視
する必要があります。
(つづく)

フィリピン海で共同訓練を行つて米軍
子力空母カルビンソン(手前)と海
上自衛隊イージス艦さつき(後
方先頭)など=2013年9月(米
インド太平洋ウェブサイトから)